

国語科のお話（第1回）

国語科では、物語文や説明文、詩、俳句、短歌、新出漢字、言葉のきまりなどを学習します。学校では、様々な物語文を学習し、次のような視点で授業を進めています。

低学年では、話の筋道を理解する。

中学年では、物語の構成を捉え、変容を読む。

高学年では、物語の主題を考える。

例えば、第3学年で学習する物語文「モチモチの木」で説明すると、低学年では、中心人物の豆太が1人でトイレにも行けない臆病者である。そして、じさまが倒れたので真夜中に医者を呼びに行ったということがわかればよいのです。中学年では、臆病な豆太が勇気を振り絞って、医者を呼びに行ったことが読み取ればよいのです。高学年では、主題が勇気や家族愛などであることを考えることができればよいのです。主題までわかれば、読書感想文はスムーズに書くことができるようになります。細かい指導は、学校の授業で行います。

低学年では、音読による音声情報のフィードバックが読解を支えるという研究があります。そこで、保護者の皆様は、物語の読み聞かせをしていただくと有難いです。物語は何でもよいです。お子様の読解力向上にご協力をお願いします。